

まず行動する



共に考え行動する



力をまとめる



確かめ合う

1 【 研修成果を上げるための提案や助言 】

提案事項の必然性を理解してほしい。

提案資料には、提案事項を理解・納得してもらうために、学校課題を受けての必要性や利点、提案事項の課題をはっきりと明示している。

自分の考えを曖昧にしたい、それに対しての意見を聞きたい。

自分が思っていることや考えていることを言葉で言うだけではなく、必ず文字や図にし、ビジュアル化して分かりやすく提案し、周りからの意見を聞くようにしている。

全職員が同じように授業改善に取り組んでほしい。

研修の目標の達成のためには、年齢や経験に関係なく、気軽に相談に乗っている。言いづらいことがあっても授業改善のために自分の意見をはっきりと言っている。

研修の成果を上げるため、言いづらいことがあっても自分の意見をはっきりと言っている。

2 【 研修課題解決のための個々の職員への助言や言葉掛け 】

課題解決の力になりたい。力を付けてほしい。

検討会の事前と事後には提案者と個別に話し合い、より細かい指導方法の確認をしたり、提案者が未だ納得しきれていないことについての助言をしたりしている。

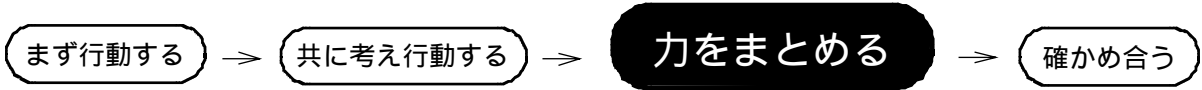
日常の授業でも研修を意識した取組を行ってほしい。

研修の時間だけではなく、放課後など、ちょっとした時間を利用して、研修の課題を解決できるような方法や考え方を、先生方と一緒に考えたり、助言したりしている。

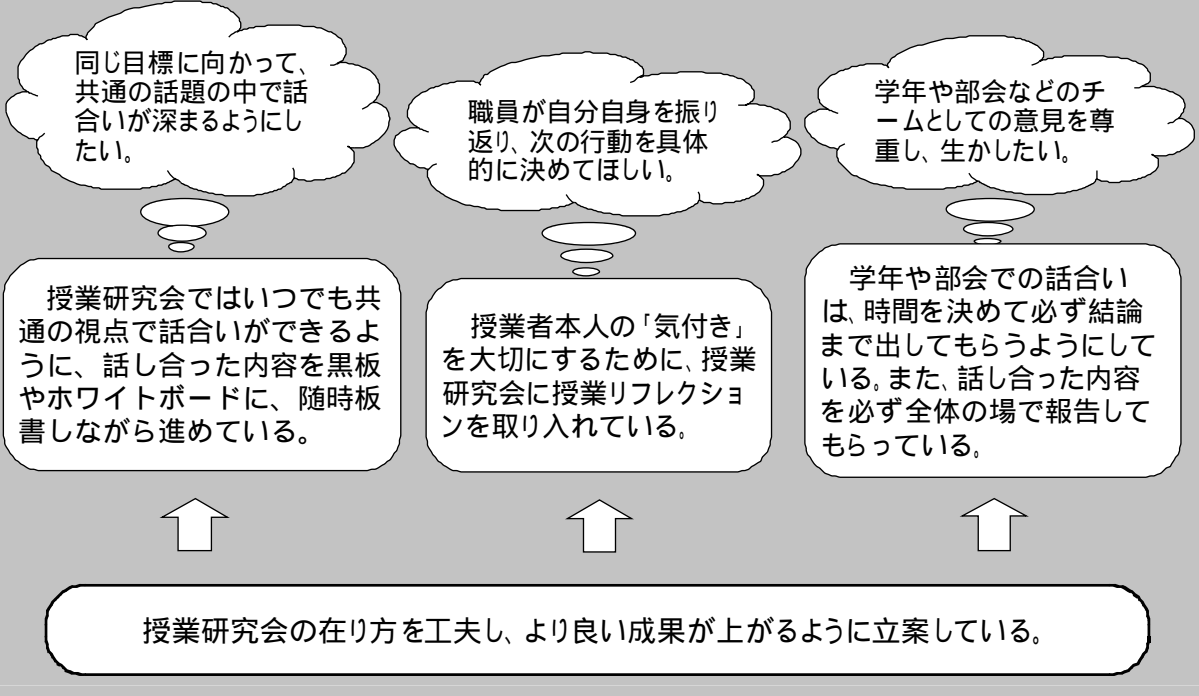
みんなでアイデアを出し合って課題を解決していきたい。

様々なアイデアが必要な場合は、「ちょっと皆さん、時間とれますか」等、他の職員に進んで声を掛け、一緒に話し合いに参加してもらい、課題が解決できるようにしている。

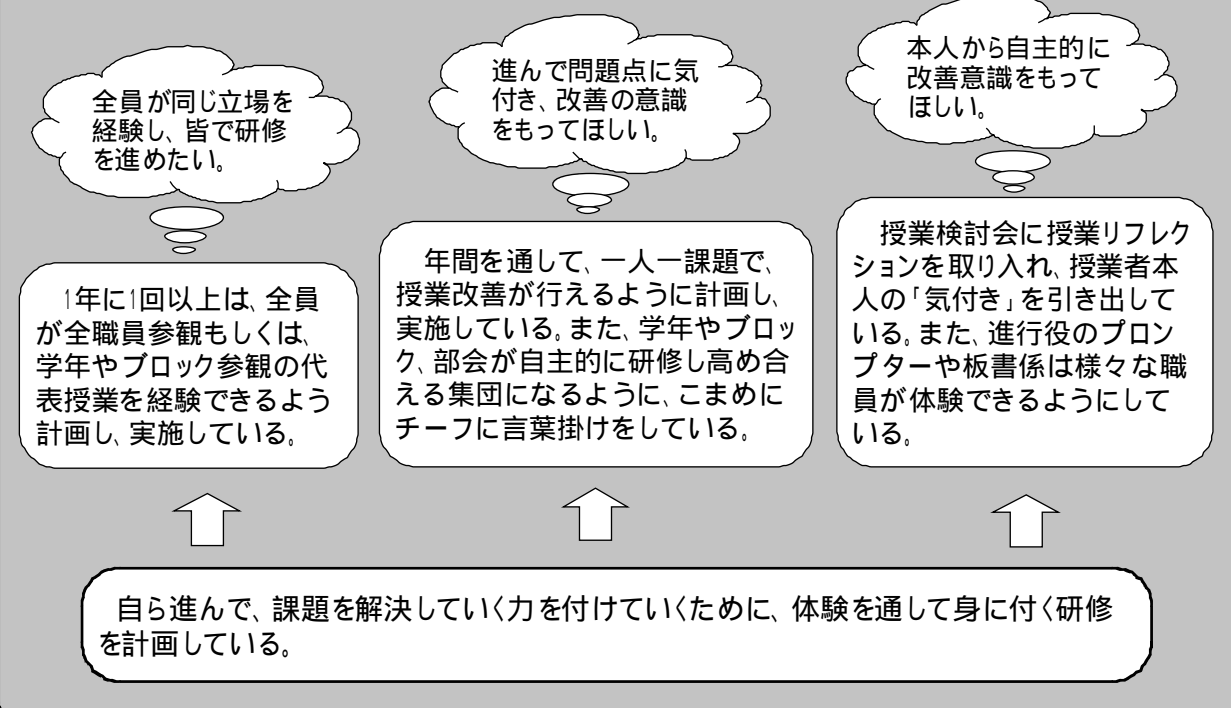
それぞれの職員の考えを丁寧に聞き、研修の課題が解決できるように助言している。



3 【 より良い成果を上げるための授業研究会の在り方の工夫 】



4 【 体験を通して身に付く研修の計画・実施 】



教頭
教務主任
学年主任
研修主任